

室内環境

～身近な問題をもっと知ってほしいので思案してみました～

渡邊 文雄

株式会社ガステック

〒252-1195 神奈川県綾瀬市深谷中8-8-6

はじめに

かれこれ十年以上室内環境に携わってきましたが、私に関わってきた範疇を越えて室内環境に考えを巡らすことはこれまでになかったこともあり、今回本誌に寄稿できる機会を与えて頂いたので、一般の方又は関心のある方に室内環境の興味を感じて頂くにはどうしたらよいかを私なりに思案してみました。

その結果はありふれたものではありませんが、知識を共有したり疑問を解決してくれる場の提供と、身近に関心が向かいそうな話題・問題を提供することかと思えます。ここでは私なりに思いついたことを提起したいと思います。

場の提供

インターネットのコミュニティサイトを活用することを思い浮かびました。共通の指向を持った人たちがグループ形成し易いからです。現在では数多くのサイトがありますが、現存のどこのサイトが適しているとかは正直のところ、わからない上に寸評できるほどの情報を持ち合わせておりませんが、発信側が受け手側に飽きさせない工夫、例えば、情報の更新がまめであること、関心のある話題を提供していくこと、受け手側が発信側になる機会があること、質問疑問を回答してくれることなどが、その上でサイトの雰囲気良かったり、初心者でも入り易い敷居の低いサイトが望ましいと思えます。又、知識や経験を持った方の意見・助言を受けられると他のサイトとの違いが際立ち、閲覧者の印象が深くなると思えます。

関心のある問題

身近な話題として一つを取り上げてみると、年を重ねるにつれ、「健康」をキーワードとするような物事に関心が向くようになりました。私の場合は三十路に入り増えていく体重からメタボリックシンドロームを連想し不安と関心が注がれましたが、病気になって健康のありがたみがわかる場合もあれば、生活習

慣病における健康との関わりから健康に良い食事・食品・運動などに注目される場合もあるでしょう。

ところで、毎日欠かさず摂取している食事と同様に、呼吸をして空気中の酸素を取り込んで生命活動のエネルギーを得ているわけですが、個人差はあれ1日の内の多くの時間を室内や職場で過ごされていれば、その環境の空気質は健康にとって重要なことではないかと思えます。1日でどのような化学物質をどれだけ体内に取り込んで代謝されているのだろうか。それは体にとって、健康にとって大丈夫なのだろうか。

これらの化学物質が健康にどのように影響しているかは私自身の知識は乏しく判断もつきません。

症状が現れると一般的に経済的・時間的損失を費やし、場合によっては治療が長引いて大変な思いをすることもあってしょう。このようなことを考えると症状が現れてからよりも、現れる前の予防的知識・活動が重要なのかと思えます。

かく言う私も本稿を執筆しているこの時期(3月)は時折鼻が過敏になったりするので、花粉症かな? エアコンからカビや胞子が出てきて感じているのか等と考えながらマスクをすること、(室内濃度をさげるために)換気をすること、(有害物質を吸着・吸収するといわれている)植物を育てることの対処くらいしか思いつかないのが現状です。空気清浄機で良いのかもしれませんが、除去方式によってどんな特長を有しているのか、どんな使い方が良いのかといった基本的なことがわからない状態です。

さいごに

一般の方がエントリーし易いことを思案し思いつくままに書いてみました。これまでの研究者及び実務者が成果を発表し意見交換する場であるとともに、社会に対して健康で快適な環境に対する情報の発信、啓蒙を継続することが必要ではないかと感じた次第です。